

# 内外教育

2021年(令和3年)10月5日(火) 第6943号  
購読料金 月額4,400円(税抜4,000円)

●昭和21年12月12日 第3種郵便物認可 ●毎週2回火・金曜日発行  
(但し祝日等を除く) ●発行所 〒104-8178 東京都中央区銀座  
5丁目15番8号 時事通信社 ©時事通信社2021  
誌面内容に関するお問い合わせ(編集部) educate@grp.jiji.co.jp  
ご購読に関するお問い合わせ(業務管理部) dokusya@jiji.co.jp

## 時事通信社

### 目次

〈教育長はこう考える〉  
渡部真也島根県知夫村教育長に聞く  
地域で育む寮を運営……………2~3

〈特集〉第36回時事通信社「教育奨励賞」受賞校  
▽努力賞  
研究開発で地域の手本に  
③松山市立東雲小学校・同市立東中学校…4~5  
コロナ禍救った「2つの教室」  
④岡山県立林野高等学校……………6~7

〈学校をカエル〉  
第19回 校則見直しのコストパフォーマンス  
内田 良・名古屋大学大学院准教授……………8~9

〈教育と職業、なぜ日本は欧米と異なるのか〉  
第13回 就職協定今昔  
海老原嗣生・大正大学表現学部特命教授  
……………10~12

外国語、理科、算数、体育で  
小学校教科担任制の文科省有識者会議報告…13

〈調査〉読書と非認知能力に関連性  
子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究  
……………14~15

小中高校教員向けの金融教育セミナー  
金融広報中央委員会がオンライン配信中…16

〈アンテナ・スポット〉……………17~18

〈わたしの学校経営〉  
佐藤啓治・大分県立鶴崎工業高等学校校長…19

〈ラウンジ〉  
ワーク・ライフ・シナジーへの転換……………20

## 小説やドラマから学ぶ

敬愛大学客員教授 ●武内 清



新型コロナウイルスのため、本を読んだりドラマを見たりする時間が増えている。最近読んだ本や見たドラマから、教育のことを考えてみたい。

村上春樹著「猫を棄てる」(文藝春秋、2020年)には、村上の父親が20歳の時徴兵され、中国大陸の戦線に参加したことが書かれている。村上はその責務も感じている。「我々は、広大な大地に向けて降る膨大な数の雨粒の、名もなき一滴に過ぎない。固有ではあるけれど、交換可能な一滴だ。しかしその一滴の雨水には、一滴の雨水なりの思いがある。一滴の雨水の歴史があり、それを受け継いでいくという一滴の雨水の責務が

ある」と。

カズオ・イシグロ著「クララとお日さま」(早川書房、21年)は、人工親友ロボットのクララが、ずば抜けた観察力と学習能力で、病弱の少女に優しい心で接し、少女の成長を助ける。少女が成長し不要になり、捨てられてしまう。ロボットの献身的な生き方が描かれ、その純粋さ、けなげさに、そして悲しい結末に心打たれる。

韓流ドラマ「梨泰院クラス」(20年)には、片思いがたくさん描かれている。ヒロイン趙以瑞の朴世路に対する片思いは、彼を傷つけるものに対しては身を挺して守り、敵を殲滅するという強い

意志に基づいたものであり、動物の母親が子を守る姿に似ている。その思いが相手に伝わらないのは悲しいが、そのことで気持ちが怯むことはない。

ドラマ「秘密の森」(17年)は、韓国の派閥や情実がはびこる検察・警察組織の中で、脳の手術で感情を欠き認知能力のみが卓越した主人公が、正義感で犯罪を摘発し、組織の腐敗を暴いていく。これらの小説やドラマから、個人の尊厳、過去の歴史を引き継ぐ責務、献身的な生き方、無償の愛、正義感など、道徳教育に通ずる内容を読み取ることができるといえる。

これらは、混濁した現実の政治や社会には見られない現象である。生き方のモデルや価値として、子供や青年たちに示したい。

